

平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月26日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 坂本 二郎 TEL 03-5205-7206

四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績 (平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	258,439	0.3	34,399	28.2	31,430	38.9	19,749	19.9
28年12月期第3四半期	257,761	△5.6	26,831	△34.4	22,623	△38.3	16,469	△36.8

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 23,552百万円 (-%) 28年12月期第3四半期 △10,357百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	36.09	36.05
28年12月期第3四半期	30.10	30.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	697,127	610,778	87.5
28年12月期	697,167	600,745	86.1

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 610,144百万円 28年12月期 600,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	12.50	-	12.50	25.00
29年12月期	-	12.50	-	-	-
29年12月期 (予想)	-	-	-	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	347,000	1.2	39,000	23.3	35,000	32.6	21,000	12.5	38.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	576,483,555株	28年12月期	576,483,555株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	29,174,125株	28年12月期	29,261,490株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	547,284,381株	28年12月期3Q	547,225,223株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年1月1日から9月30日までの9か月間）の売上高は2,584億円（前年同期比0.3%増）、営業利益は343億円（同28.2%増）、経常利益は314億円（同38.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は197億円（同19.9%増）となりました。なお、2016-2020年中期経営計画の経営目標に掲げるコア営業利益（営業利益+のれん償却額+持分法投資損益）は405億円（同28.7%増）となりました。

◎ 売上高及び営業利益は、技術収入の増加や研究開発費の減少等により増収増益となりました。

◎ 経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医薬事業

① 業績

医薬事業の売上高は、1,990億円（前年同期比1.3%増）となり、営業利益は291億円（同32.1%増）となりました。

◎ 日本の売上高は、医療費抑制策に伴う後発医薬品の浸透や昨年4月に実施された薬価基準引下げの影響等を受け前年同期を下回りました。

- ・主力製品の腎性貧血治療剤「ネスプ」は、薬価基準引下げの影響等により前年同期の売上高を下回りました。
- ・抗アレルギー剤「アレロック」、高血圧症・狭心症治療剤「コニール」、好中球減少症治療剤「グラン」、抗てんかん剤「デパケン」等の長期収載品は、後発医薬品の浸透等の影響を受けて売上高が減少しました。

- ・発熱性好中球減少症発症抑制剤「ジーラスタ」、パーキンソン病治療剤「ノウリアスト」、2型糖尿病治療剤「オングリザ」等は、堅調に売上高を伸ばしました。

◎ 海外の売上高は、技術収入の増加等により前年同期を上回りました。

- ・欧州及び米州では、癌疼痛治療剤「Abstral」及び「PecFent」やオピオイド誘発性便秘治療剤「Moventig」等が伸長したほか、アストラゼネカ社からのベンラリズマブに関する契約一時金・マイルストーン収入等により売上高は前年同期を上回りました。

- ・アジアでは、台湾や韓国を中心に堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

② 研究開発

当社では、抗体技術を核にした最先端のバイオテクノロジーを駆使し、腎、がん、免疫・アレルギー、中枢神経の各カテゴリーを研究開発の中心に据え、資源を効率的に投入することにより、新たな医療価値の創造と創薬の更なるスピードアップを目指しております。

当第3四半期連結累計期間における主な後期開発品の開発状況は次のとおりであります。

腎カテゴリー

- ・日本においてカルシウム受容体作動薬KHK7580（一般名：エボカルセト）の維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症を効能・効果とする承認申請を4月に行いました。
- ・日本においてRTA402（一般名：バルドキシロンメチル）の2型糖尿病を合併する慢性腎臓病を対象とした第Ⅱ相臨床試験を実施中です。
- ・中国において持続型赤血球造血刺激因子製剤KRN321（日本製品名「ネスプ」）の透析施行中の腎性貧血を効能・効果とする承認再申請の準備中です。

がんカテゴリー

- ・日本においてc-Met阻害剤ARQ197（一般名：チバンチニブ）のソラフェニブ治療歴を有するc-Met高発現の切除不能肝細胞癌を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。
- ・抗CCR4ヒト化抗体KW-0761（日本製品名「ポテリジオ」）は、米国及び欧州等において血液がんを効能・効果とする承認申請の準備中です。

免疫・アレルギーカテゴリー

- ・抗IL-5受容体ヒト化抗体KHK4563（一般名：ベンラリズマブ）は、日本において気管支喘息を適応症とした承認申請を、本剤の権利の導出先であるアストラゼネカ社が2月に行いました。また、同社が実施している国際共同試験計画の一環として、気管支喘息を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本及び韓国において、慢性閉塞性肺疾患を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本においてそれぞれ実施中です。
- ・抗IL-17受容体A完全ヒト抗体KHK4827（日本製品名「ルミセフ」）は、体軸性脊椎関節炎を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本、韓国等において4月に開始しました。また、乾癬を対象とした第Ⅲ相臨床試験を韓国において実施中です。さらに、日本において在宅自己注射の対象薬剤として9月に適用されました。
- ・日本においてゼリア新薬工業(株)との共同開発である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」の用法・用量追加の承認を5月に取得しました。

中枢神経カテゴリー

- ・アデノシンA_{2A}受容体拮抗剤KW-6002（日本製品名「ノウリアスト」）の米国におけるパーキンソン病を対象とした再申請の可能性について検討中です。
- ・日本において抗CCR4ヒト化抗体KW-0761（日本製品名「ポテリジオ」）の、HTLV-1関連脊髄症を対象とした第Ⅲ相臨床試験を6月に開始しました。

その他

- ・抗線維芽細胞増殖因子23完全ヒト抗体KR N23（一般名：burosumab）は、欧州において小児X染色体遺伝性低リン血症を適応症とした承認を申請中です（平成28年12月申請受理）。また、成人X染色体遺伝性低リン血症を対象とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を北米、欧州、日本及び韓国において、小児X染色体遺伝性低リン血症を対象とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を北米、欧州、オーストラリア、日本及び韓国において、それぞれ実施中です。さらに、腫瘍性骨軟化症又は表皮母斑症候群を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国、日本及び韓国において実施中です。
- ・中国においてトロンボポエチン受容体作動薬AMG 531（日本製品名「ロミプレート」）の慢性特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。また、日本及び韓国において再生不良性貧血を対象とした第Ⅱ／Ⅲ相臨床試験を実施中です。
- ・日本において遺伝子組換えアンチトロンビン製剤（日本製品名「アコアラン」）の新規含量規格である「アコアラン静注用1800」の製造販売承認を9月に取得しました。

バイオケミカル事業

バイオケミカル事業の売上高は、618億円（前年同期比2.9%減）となり、営業利益は50億円（同5.6%増）となりました。

- ◎ 日本の売上高は、前年同期を下回りました。
 - ・医薬・健食用原料は堅調に推移し、前年同期を上回りました。
 - ・通信販売事業は、昨年発売の「アルギニンEX」が伸長しました。
 - ・協和エンジニアリング(株)の売上高が、前年同期を下回りました。
- ◎ 海外の売上高は、前年同期を下回りました。
 - ・米州では、サプリメント向け原料の集中出荷があった前年同期を下回りました。
 - ・欧州では、前年同期並みとなりました。
 - ・アジアでは、一部製品の競争激化による影響で前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

- ◎ 総資産は、前連結会計年度末とほぼ同額の6,971億円となりました。
 - ・流動資産は、受取手形及び売掛金等の減少がありましたが、資金運用としての親会社への短期貸付金の増加等により、前連結会計年度末に比べ130億円増加し、3,395億円となりました。
 - ・固定資産は、償却によるのれん及び販売権の減少等により、前連結会計年度末に比べ130億円減少し、3,576億円となりました。
- ◎ 負債は、未払金等の減少により、前連結会計年度末に比べ100億円減少し、863億円となりました。
- ◎ 純資産は、配当金の支払いによる減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ100億円増加し、6,107億円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇し、87.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月28日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,066	14,391
受取手形及び売掛金	100,999	95,279
商品及び製品	51,349	48,930
仕掛品	12,934	14,701
原材料及び貯蔵品	11,945	11,608
繰延税金資産	10,824	11,006
短期貸付金	114,866	135,335
未収入金	5,900	4,264
その他	4,848	4,298
貸倒引当金	△265	△301
流動資産合計	326,469	339,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	141,432	142,222
減価償却累計額	△89,967	△92,202
建物及び構築物（純額）	51,464	50,019
機械装置及び運搬具	162,747	167,747
減価償却累計額	△133,539	△137,113
機械装置及び運搬具（純額）	29,207	30,633
土地	45,685	44,497
建設仮勘定	15,339	13,261
その他	49,935	51,035
減価償却累計額	△40,585	△41,178
その他（純額）	9,350	9,856
有形固定資産合計	151,047	148,269
無形固定資産		
のれん	134,910	127,188
販売権	49,402	45,852
その他	708	839
無形固定資産合計	185,021	173,880
投資その他の資産		
投資有価証券	11,412	11,245
退職給付に係る資産	6,563	7,311
繰延税金資産	11,496	11,384
その他	5,257	5,622
貸倒引当金	△100	△100
投資その他の資産合計	34,629	35,462
固定資産合計	370,698	357,612
資産合計	697,167	697,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,230	15,823
短期借入金	5,360	5,545
未払金	37,608	27,904
未払法人税等	8,183	6,645
売上割戻引当金	1,677	1,965
ポイント引当金	249	267
賞与引当金	422	4,133
その他	7,684	7,146
流動負債合計	79,416	69,433
固定負債		
繰延税金負債	9,144	8,821
退職給付に係る負債	2,358	2,237
工場再編損失引当金	2,988	2,988
資産除去債務	502	472
その他	2,012	2,395
固定負債合計	17,006	16,915
負債合計	96,422	86,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	509,128	509,145
利益剰余金	90,986	97,054
自己株式	△26,889	△26,814
株主資本合計	599,970	606,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,037	2,249
為替換算調整勘定	2,385	5,377
退職給付に係る調整累計額	△4,210	△3,611
その他の包括利益累計額合計	212	4,015
新株予約権	562	633
純資産合計	600,745	610,778
負債純資産合計	697,167	697,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	257,761	258,439
売上原価	101,927	97,134
売上総利益	155,834	161,304
販売費及び一般管理費		
研究開発費	38,809	36,163
のれん償却額	9,583	9,346
その他	80,609	81,395
販売費及び一般管理費合計	129,002	126,905
営業利益	26,831	34,399
営業外収益		
受取利息	362	359
受取配当金	272	251
為替差益	401	—
デリバティブ評価益	—	418
その他	883	706
営業外収益合計	1,920	1,737
営業外費用		
支払利息	32	65
為替差損	—	681
デリバティブ評価損	457	—
持分法による投資損失	4,937	3,235
固定資産処分損	483	263
その他	216	460
営業外費用合計	6,128	4,706
経常利益	22,623	31,430
特別利益		
固定資産売却益	2,901	603
投資有価証券売却益	256	588
債務免除益	1,334	—
特別利益合計	4,491	1,191
特別損失		
減損損失	233	—
特別損失合計	233	—
税金等調整前四半期純利益	26,882	32,621
法人税等	10,412	12,872
四半期純利益	16,469	19,749
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,469	19,749

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	16,469	19,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,128	212
為替換算調整勘定	△25,961	3,002
退職給付に係る調整額	368	598
持分法適用会社に対する持分相当額	△107	△11
その他の包括利益合計	△26,827	3,802
四半期包括利益	△10,357	23,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,357	23,552

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	195,857	61,903	257,761	—	257,761
セグメント間の内部売上高	582	1,765	2,347	△2,347	—
計	196,439	63,668	260,108	△2,347	257,761
セグメント利益	22,039	4,747	26,786	44	26,831

注1. セグメント利益の調整額44百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	198,277	60,161	258,439	—	258,439
セグメント間の内部売上高	742	1,687	2,430	△2,430	—
計	199,020	61,849	260,869	△2,430	258,439
セグメント利益	29,114	5,013	34,127	271	34,399

注1. セグメント利益の調整額271百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。